

みみょう幼稚園だより



令和2年7月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

プールあそびはじまりました

通常の園生活を取り戻して一か月が過ぎました。とはいうものの予防に細心の注意を払いながらの毎日は続いています。屋上のプールを使っての水あそびも始まりましたが、うがいやシャワーの時間をたっぷりとするなどして、安全で楽しい時間になるように、様々な対策をとっています。また、園庭での色水あそびやどろんこあそびなど、全身で感じたり、表現したりする機会も、しっかりと持っていきたいと思えます。お家の皆様には洗濯物を増やしてしまい、ご苦労をお掛けしていますが、どうぞご理解いただき、ご協力をお願いいたします。また、今後も、長期的な対策が必要です。そのためにも、ご家庭との連携は不可欠です。本園の感染予防対策をはじめとして、お気づきの点やご心配な点などありましたら、忌憚のないご意見やご要望を伝えていただきますと幸いです。

* * 未来のために種時きを * *



6.9 年長さん剣道スタート

ころんでしまった年少さんのおひざに小さな絆創膏をはってあげました。するとすぐに「ありがとう」と可愛い言葉がかえってきました。まだ発音もままならないありがとうでしたが、本当に自然な反応で、心がぱあっと明るくなりました。一人ひとりの性格や思いには違いがあって、すぐに口に出せる子どももいれば、恥ずかしくて黙っている子どももいます。いずれにしても、「ありがとう」はとても素敵な言葉であり大切な行動であることが認識されていくことが大事です。今は言えない子どもにも、きっと素敵な挨拶

ができる日がやってきます。子どもの中に、「ありがとう」「こんにちは」などの挨拶、そして、思いやりや主体性の種をたくさんたくさん蒔いて、心や身体にたっぷり溜めてあげましょう。

先月号では、まねっこの大切さをお伝えしました。大人の日頃の言動が重要なのですが、そこに、親として、保育者として、それぞれの立場での意識や専門性が加わることによって、家庭教育や幼稚園教育の特徴や質が決まります。そして、人間形成の土台となる生活習慣や姿勢を身につけていくのです。時間や予定に追われて「早く早く」ではなく、落ち着いた生活の中で、意識して、感じたり気づいたりする機会や動いたり考えたりする時間を確保していきましょう。それは、必ず集中してやりぬいたり、お友だちにやさしく関わったりする力につながっていきます。

みみょうグループでは、『0歳からの幼児教育』をテーマに、日々の保育教育の質の向上を目指しています。3歳からスタートする幼稚園だからこそ、0歳からの育ちを理解することがとても大切です。タイムリーで適切な手助けや後押しをするために、しっかりと理解と日々の見取りをしていきたいと思えます。そうした日々の積み上げが、子どもたちの未来の姿の基礎となるからです。

和裁で縫い目を正しく整えるために、あらかじめ荒く縫いつけておく“仕付け”、田植えなど作物を植え付けることも“仕付け”と言うそうです。どちらも、こんな風につくりたい育てたいという理想的な仕上がりを実現するために前もってやっておくことを意味します。子どもたちに礼儀や作法を身につける“躰”という言葉もありますが、子育ての場合にはもっと大きく広く捉え、親として保育者として、毎日こつこつと子どもたちの未来のためにたくさんの種を蒔いておきたいですね。(園長 三上玲子)